



第 二 期
京 都 市 認 定 通 訳 ガ イ ド
「京 都 市 ビ ジ タ ー ズ ホ ス ト」
〈 City of Kyoto Visitors Host 〉

研修受講生 募集要項

京都を訪れる外国人観光客に、外国語で伝統的な京都の文化や歴史を説明し、奥深い京都の魅力を伝えることができる、京都市認定通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」を目指す方を募集します。

募集期間	平成 28 年 10 月 17 日（月）～11 月 10 日（木）
[申込期限]	平成 28 年 11 月 10 日（木）17 時必着
対象言語	英語，中国語，フランス語（新設）

【募集要項の電子版】

京都市のホームページ（京都市情報館／市民・観光事業者向け事業等）からダウンロードできます。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/22-4-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

京都市認定通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」

第二期研修受講生 募集要項

通訳案内士は、報酬を得て、外国人に付き添い、外国語を用いて旅行に関する案内をすることができる資格で、通訳案内士法（昭和 24 年法律第 210 号）では国家試験に合格することが必要とされています。

この特例として、京都市が構造改革特別区域法（平成 14 年法律第 189 号）における構造改革特別区域計画の認定（平成 27 年 11 月 27 日）を受けたことから、国家試験を受けることなく、京都市が実施する研修を履修し、口述試験に合格した後、京都市長の登録（認定）を受けることにより、京都市内で、有償で外国語を用いた通訳案内業務を行うことができるようになりました。

つきましては、京都市における認定通訳ガイドの育成を行うため、研修受講生を以下のとおり募集します。

1 対象言語

英語、中国語、フランス語（新設）

2 京都市認定通訳ガイドが活動できる地域

京都市内全域

3 募集定員

50 名程度

4 応募要件

2年以内（平成 26 年 10 月 18 日～平成 28 年 10 月 17 日）に、各対象言語における以下のいずれかの資格を取得していること。

※2年以内の資格がない方については、京都市認定通訳ガイドの登録までに資格を取得する必要があります。

区分	内容
①日本語を母語とする方	英 語：TOEIC 730 点以上 （団体特別受験制度（IP：Institutional Program）のスコアは不可） 実用英語技能検定 準 1 級以上 TOEFL iBT 80 点以上 中国語：中国語検定 2 級以上 フランス語：実用フランス語技能検定試験 準 1 級以上

②英語・中国語・フランス語を母語とする方	日本語能力検定 N2 級以上 日本留学試験日本語 280 点以上/400 点満点かつ 日本留学試験日本語記述 30 点以上/50 点満点
③日本語・英語・中国語・フランス語 <u>以外</u> を母語とする方	上記区分①および②の両方が必要

※研修は原則として日本語で実施します。

※年齢制限はありません。

※京都市以外にお住まいの方も応募することができます。

※応募時に、京都・観光文化検定試験の資格は不要ですが、京都市認定通訳ガイドの再登録（更新）時（認定から 5 年後）には、同試験 2 級以上の取得を必要とします。

5 研修スケジュール（予定）

- ・募集期間 : 平成 28 年 10 月 17 日（月）～11 月 10 日（木）
[申込期限] 11 月 10 日（木）17 時必着
- ・書類審査 : 平成 28 年 11 月 11 日（金）～平成 28 年 11 月 21 日（月）
[書類審査結果通知] 平成 28 年 11 月 22 日（火）簡易書留にて発送予定
- ・面接審査 : 平成 28 年 12 月 3 日（土）、4 日（日）
[面接審査結果通知] 平成 28 年 12 月 9 日（金）簡易書留にて発送予定
- ・研修期間 : （基礎研修）平成 29 年 2 月 4 日（土）～3 月 19 日（日）
（専門研修）平成 29 年 4 月～7 月（予定）
- ・口述試験 : 平成 29 年 8 月（予定）
- ・合格発表 : 平成 29 年 9 月（予定）
- ・登録(認定) : 平成 29 年 9 月（予定）

6 提出書類, 申込方法

提出書類	<p>(1) 「京都市認定通訳ガイド研修申込書」 ※様式は、京都市のホームページ（京都市情報館／市民・観光事業者向け事業等）からダウンロードできます。 http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/22-4-0-0-0-0-0-0-0.html</p> <p>(2) 次の①～③の書類のうち、いずれか1点のコピーを添付してください。なお、①～③をお持ちでない方のみ、④のコピーを添付してください。外国人の方については⑤の、通訳案内士の方については⑥のコピーを添付してください。</p> <p>①運転免許証 ②旅券（パスポート） ③学生証（氏名，生年月日，住所，学校名，顔写真が確認できるページ） ④各種健康保険証等，本人が確認できる資料 ⑤在留カード（外国人の方） ⑥通訳案内士登録証（通訳案内士の方）</p>
申込方法	<p>封筒の表に「京都市認定通訳ガイド研修申込書在中」と朱書きし， <u>「簡易書留」</u>で送付してください。 申込みは郵送のみの受付とします。持参や電子メール，FAX での申込みはできません。</p>
送付先	<p>〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル 5階 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー内 京都市認定通訳ガイド事務局（TEL：075-212-4145）</p>

7 研修受講者の選考

研修にご応募いただいた後，書類審査及び面接審査を実施し，語学能力等に係る事前審査を行います。審査の結果によっては研修にご参加いただけない場合もございます。

(1) 実施日

書類審査：平成28年11月11日（金）～平成28年11月21日（月）

※書類審査の終了後，書類審査結果通知にて，面接審査の時間及び会場を連絡します。

面接審査：平成28年12月3日（土），4日（日）

※面接審査は，書類審査を通過した方のみ実施します（1人あたり10分程度）。

※合否等について個別に具体的な選考内容をお答えすることはできませんので，ご了承ください。

(2) 選考基準

- ・通訳案内業務を成し遂げる責任感
- ・通訳案内業務を円滑に行うための体力やコミュニケーション能力（語学力）
- ・京都の観光振興に対する高い興味、意欲
- ・京都の新たな魅力を発掘する探究心
- ・様々な立場の人と共に仕事ができる協調性、柔軟性
- ・ビジネススキル（基本的なパソコン操作など）、ビジネスマナー
- ・京都市認定通訳ガイドとして相応しい装い、立ち振る舞い

8 研修受講料，登録料

(1) 研修受講料

54,000 円（基礎研修：27,000 円，専門研修（1 科目）：27,000 円）

※研修に利用するテキスト（資料）の費用を含んでおります。

※実地研修（P.6 参照）に要する経費（施設入場料，食事代等）は，別途実費負担となります。詳細はオリエンテーション時にご説明します。

(2) 登録料

5,000 円

※登録の際には，別途，住民票や健康診断書の提出等が必要です（受診等の経費が別途必要となります）。

9 基礎研修

参加者全員に同一のカリキュラムを受講いただき，通訳案内業務を行う上での基本的なガイドスキルや一般的な京都の知識を習得いただきます。講座数は計 24 講座（1 講座 90 分）です。原則として，欠席は認められません。

(1) 研修内容

研修科目	研修内容	講座数
オリエンテーション	研修の開催に当たっての説明を行います。	1 講座
通訳ガイドの心得	現役の通訳案内士から，その心構えや必要な勉強方法など，通訳ガイドとして活躍するためのポイントについての研修を行います。	2 講座
ホスピタリティ	外国人観光客の特徴やマナーに関する知識，好感をもたれる表現方法など，おもてなしの精神についての研修を行います。	3 講座
ガイドスキル	観光案内のための周辺情報の調査や事前準備，施設利用時の注意点についての研修を行います。	4 講座
京都の知識	京都の歴史，史跡など観光に直接関連する知識や，文化や慣習などについての研修を行います。	2 講座

旅程管理	旅行者の移動の円滑化に関する知識，安全対策及び事故発生時の対応に関する事務処理能力等についての研修を行います。	4 講座
実地研修 (準備・振返りを含 む)	実際のガイドツアーに近い形での総合的な実地研修を行います。	8 講座

(2) 日時

別紙 1, 2 のとおり

※土曜クラスまたは日曜クラスのどちらかを申込時に選択してください。途中で変更することも可能です。

(3) 会場

大和学園

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル

・京都市営地下鉄「京都市役所前駅」下車すぐ

※通訳案内士試験に合格し，都道府県知事の登録を受けた方は，希望により基礎研修の受講を免除します。また，その受講料（27,000 円）の納付も不要です。

※京都・観光文化検定試験 1 級をお持ちの方は，希望により基礎研修の「京都の知識」（2 講座）の受講を免除します。ただし，研修受講料の減免はございません。

※旅程管理主任者の資格をお持ちの方は，希望により基礎研修の「旅程管理」（4 講座）の受講を免除します。ただし，研修受講料の減免はございません。

※本研修には，京都産業大学の学生が一部参加する可能性があります。

※研修の実施期間中に，京都市消防局が実施する上級救命講習（約 8 時間・無料）を別途受講いただきます。京都市認定通訳ガイドの研修受講生を対象とした講習を平成 29 年 3 月 25 日（土）に実施します。当日都合がつかない方は，講習日程をご確認のうえ，別途個別にお申し込みいただき，一般向け講習を研修の実施期間中に受講ください。

京都市消防局ホームページ「上級救命講習の日程について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/page/0000164787.html>

10 専門研修

(1) 研修内容

専門分野における京都観光の奥深い知識を習得いただきます。1 科目以上受講してください。受講時間は計 15 講座（1 講座 90 分）です。原則として，欠席は認められません。

研修科目	研修内容	講座数
伝統産業	<p>京都の伝統産業の成り立ちや背景などの知識はもとより、観光の視点にたち、日本の文化や生活に結びついている製品などを作り出す京都の伝統産業について研修を行います。</p> <p>《目的》 外国人観光客に、日常の中で直接感じる（触れる・観る・体験する・購入するなど）のできる伝統産業を知っていただき、その伝統工芸品に込められた京都の歴史と職人の想いをもち帰っていただきます。</p>	15 講座
文化財	<p>世界遺産等の有名建築物に限らず、京都市内にみられる登録有形文化財等について、その歴史的背景の研修を行います。</p> <p>《目的》 外国人観光客に、外観や機能を維持しつつ、商売や生活が今も続いている建築物など、現代に則した形で守り続けられている文化財の姿から、京都という街の価値を感じていただきます。</p>	15 講座
伝統文化（新設）	<p>京都が 1200 年を超える歴史の中で蓄積してきた多様な文化芸術など無形の文化財を通して、京都の歴史と人々の想いについて研修を行います。</p> <p>《目的》 外国人観光客に、京都に住む人と物と技の連鎖が生み出す時間を共有していただき、京都の息吹を感じていただきます。</p>	15 講座
食文化（新設）	<p>和食の原点と言える「京料理」や家庭のおかず（おぼんざい）など、京都の長い歴史と四季折々の自然の中、世代を越えて育まれてきた「京の食文化」について研修を行います。</p> <p>《目的》 外国人観光客に、京都の台所を担う生産者の創意工夫や、食文化と年中行事や生活文化との関わりから、京都の和食文化の魅力を感じていただきます。</p>	15 講座

（2）日時及び会場

平成 29 年 4 月～7 月の平日及び土曜・日曜に京都市内で開講予定です。講座の内容を含め、詳細は後日お知らせします。一部の科目は、京都産業大学文化学部の協力を得て開講予定です。

京都市情報館（昨年度の専門研修について）

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000196779.html>

※申込時に研修科目の意向確認を行い、研修の詳細が決定した段階で、正式申込みを受け付けます。なお、受講人数の都合等により、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1 1 口述試験

(1) 実施時期

平成 29 年 8 月（予定）

(2) 実施内容

1 人あたり 10 分程度の面接形式とし、研修の理解度をはかるほか、対象言語のスピーキングスキルやプレゼンテーション能力について審査します。

1 2 合格発表

平成 29 年 9 月（予定）

1 3 登録（認定）

口述試験に合格された方は、京都市に申請して登録（認定）を受けることにより、有償で京都市内での通訳案内業務を行うことができます。登録を受けない場合には、京都市認定通訳ガイドに認定されたことにはなりませんので、ご注意ください。

登録申請の際は、登録申請書のほか、住民票や健康診断書等の提出が必要です。詳細は、口述試験終了後、文書にて通知します。

1 4 スキルアップ研修

認定後も、京都観光の知識を深め、引き続き能力の向上を図ることができるよう、スキルアップ研修を実施します（別途、受講料要）。当該研修では、専門研修にはない分野や、より深く掘り下げたテーマの講義を実施するとともに、実際に施設の訪問・見学を予定しています。

1 5 資格の有効期間

資格の有効期間は 5 年間で、継続する場合は再登録（更新）手続が必要となります。再登録（更新）の際には、スキルアップ研修の受講や京都・観光文化検定試験 2 級以上の取得など、再登録（更新）要件があります。

※再登録（更新）料が必要となります。

1 6 留意事項

(1) 研修中は、受講生ご自身の責任において、体調管理に努めていただきますようお願いいたします。

(2) 研修会場には駐車場はございません。公共交通機関でお越しくください。

(3) 研修会場には託児施設はございませんので、ご了承ください。

(4) 京都市認定通訳ガイドに登録（認定）後、検索サイト・クレマチス

(<https://www.kyotovisitorshost.com/>) を通じて、就業支援を行いますが、個人の収入、その他の利益を保証するものではありません。また、京都市認定通訳ガイドとして不適切な行為があった場合、登録（認定）取消となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

(5) 当該ガイドは、国家資格である「通訳案内士」とは異なりますので、京都市外にて有償で通訳ガイド活動を行うことはできません。「通訳案内士」として活動を希望される方は、通訳案内士試験（国家試験）を受験してください。なお、当該ガイドの

資格を取得しても、通訳案内士試験（国家試験）の科目免除等の措置はございません。

※本事業は一部、京都市の平成 29 年度予算において実施を予定している部分があるため、内容等が変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

17 問い合わせ先

京都市認定通訳ガイド事務局

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル 5 階

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー内

T E L : 075-212-4145

受付時間：平日 9:00～17:00（土日・祝日は受付していません。）

京都市産業観光局観光M I C E 推進室

〒604-0911 京都市中京区河原町通三条上ル恵比須町 427 番地 京都朝日会館 3 階

T E L : 075-746-2255

受付時間：平日 9:00～17:00（土日・祝日は受付していません。）

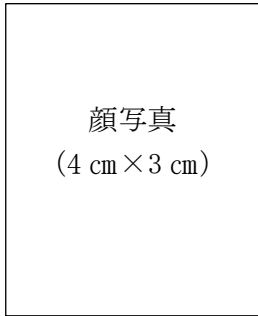
[基礎研修] 土曜クラス（会場：大和学園）

実施日	時間	項目
平成 29 年 2 月 4 日（土）	9:10～10:40	オリエンテーション
	10:50～12:20	ホスピタリティ①
	13:20～14:50	通訳ガイドの心得①
	15:00～16:30	通訳ガイドの心得②
平成 29 年 2 月 11 日（土）	9:10～10:40	旅程管理①
	10:50～12:20	旅程管理②
	13:20～14:50	ガイドスキル①
	15:00～16:30	ガイドスキル②
平成 29 年 2 月 18 日（土）	9:10～10:40	京都の知識①
	10:50～12:20	京都の知識②
	13:20～14:50	ガイドスキル③
	15:00～16:30	ガイドスキル④
平成 29 年 2 月 25 日（土）	9:10～10:40	座学 実地研修①
	10:50～12:20	座学 実地研修②
	13:20～14:50	ホスピタリティ②
	15:00～16:30	ホスピタリティ③
平成 29 年 3 月 4 日（土）	9:10～10:40	旅程管理③
	10:50～12:20	旅程管理④
平成 29 年 3 月 11 日（土）	9:10～10:40	実地研修①
	10:50～12:20	実地研修②
	13:20～14:50	実地研修③
	15:00～16:30	実地研修④
平成 29 年 3 月 18 日（土）	9:10～10:40	フィードバック 実地研修①
	10:50～12:20	フィードバック 実地研修②

[基礎研修] 日曜クラス（会場：大和学園）

実施日	時間	項目
平成 29 年 2 月 5 日（日）	9:10～10:40	オリエンテーション
	10:50～12:20	ホスピタリティ①
	13:20～14:50	通訳ガイドの心得①
	15:00～16:30	通訳ガイドの心得②
平成 29 年 2 月 12 日（日）	9:10～10:40	旅程管理①
	10:50～12:20	旅程管理②
	13:20～14:50	ガイドスキル①
	15:00～16:30	ガイドスキル②
平成 29 年 2 月 19 日（日）	9:10～10:40	京都の知識①
	10:50～12:20	京都の知識②
	13:20～14:50	ガイドスキル③
	15:00～16:30	ガイドスキル④
平成 29 年 2 月 26 日（日）	9:10～10:40	座学 実地研修①
	10:50～12:20	座学 実地研修②
	13:20～14:50	ホスピタリティ②
	15:00～16:30	ホスピタリティ③
平成 29 年 3 月 5 日（日）	9:10～10:40	旅程管理③
	10:50～12:20	旅程管理④
平成 29 年 3 月 12 日（日）	9:10～10:40	実地研修①
	10:50～12:20	実地研修②
	13:20～14:50	実地研修③
	15:00～16:30	実地研修④
平成 29 年 3 月 19 日（日）	9:10～10:40	フィードバック 実地研修①
	10:50～12:20	フィードバック 実地研修②

<第二期>
京都市認定通訳ガイド研修申込書



記入日： 年 月 日

1. 下欄を楷書で記入してください。

フリガナ			
氏名			
生年 西暦 年 月 日 月日 (歳)	性別 男・女	国籍	母語
勤務先 (学生の方は学校名) :			
自宅 〒 住所			
電話	携帯		
Eメール :			
※日本語以外を母語とする方はご記入ください。 日本での在住期間：通算 年間			

※氏名 (フリガナ) は、本人確認書類に記載されているとおりに記入してください。
※電話及び携帯は、どちらか必ず申込者本人と直接連絡がとれる番号を記入してください。

2. 該当する□に✓を記入してください。

対象言語	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> フランス語
希望する基礎研修クラス	<input type="checkbox"/> 土曜クラス <input type="checkbox"/> 日曜クラス
希望する専門研修科目 ※複数選択可	<input type="checkbox"/> 伝統産業 <input type="checkbox"/> 文化財 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 食文化
※通訳案内士試験に合格し、都道府県知事の登録を受けた方のみご記入ください。 基礎研修について <input type="checkbox"/> 受講を希望する <input type="checkbox"/> 受講を希望しない	

※専門研修科目については、申込段階での意向確認です。研修の詳細が決定した段階で、正式申込みを受け付けます。なお、受講人数の都合等により、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

3. 対象言語または日本語の検定試験等のスコアや取得資格について、該当する情報を記入してください。

検定試験名	点/級	取得年月日
TOEIC	点	
実用英語技能検定	級	
TOEFL iBT	点	
中国語検定	級	
実用フランス語技能検定	級	
日本語能力検定	級	
日本留学試験日本語	点	
日本留学試験日本語記述	点	

※登録申請時には、合格証書等の写しを提出いただきます。

4. 該当する□に、✓を記入し、必要事項を記載してください。

取得している 資格等	<input type="checkbox"/> 通訳案内士（ 国家資格 ・ 地域限定 _____ 県 ） （言語： _____ ） 取得年： _____ 年 ※通訳案内士の資格を有していない方 <input type="checkbox"/> 受験したことがある。（受験歴： _____ 回） <input type="checkbox"/> 旅程管理主任者 ・ 総合 取得年： _____ 年 ・ 国内 取得年： _____ 年 <input type="checkbox"/> 京都・観光文化検定 ・ _____ 級 取得年： _____ 年 <input type="checkbox"/> フォーリンフレンドリータクシー（タクシー運転者のみ） 認定年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 認定番号：第 _____ 号 <input type="checkbox"/> その他 （ _____ ）
---------------	--

5. 学歴・職歴

年	月	職歴

6. 京都市認定通訳ガイドとして、どのような通訳ガイドを目標としていますか。また、就業計画は、どのようなものですか。これまでの経験や今後の目標などをふまえて具体的に記入してください。

7. 個人情報の取扱い及び情報提供の同意について

以下の取扱いについて、確認のうえ、 同意します。 同意しません。

※に、を記入してください。

当該研修申込書に係る個人情報については、適切に管理し、法令で定める場合を除き、目的を超えての利用や当該研修実施機関以外のものへの提供は一切いたしません。

<提出書類>

次の①～③の書類のうち、いずれか1点のコピーを添付してください。なお、①～③をお持ちでない方のみ④のコピーを添付してください。また、外国人の方については⑤のコピー、通訳案内士の方については⑥のコピーを添付してください。

- ① 運転免許証
- ② 旅券（パスポート）
- ③ 学生証（氏名，生年月日，住所，学校名，顔写真が確認できるページ）
- ④ 各種健康保険証等，本人が確認できる資料
- ⑤ 在留カード（外国人の方）
- ⑥ 通訳案内士登録証（通訳案内士の方）